

K S K P
N O . 1 6



ハロー！

春やなあ…

発行 1996年6月
編集 クリエイティブハウス
“パンジー”

さあ、寒い冬も終わりや、よおーし体力つけやな！ と思う今日この頃。それはなぜかというと、パンジーのみんながそれぞれ自己流の意志表示を元気に始めるからです。現状に対する不満から、あの手この手で周りをかき混ぜ注目を集めるNさん。ガラス越しのお日様に向かって急に大きく声を発するHさん。「木曜日、配達」と、この九文字をラップに似たりズムで人の顔面に何度も言い寄り、木曜日には必ず配達車に乗っているMさん。みんな出し方は十人十色。そしてパワフル。

1993年の4月に知的障害者の通所授産施設としてパンジーがオープンして3年。早いものでもう4年目に突入です。

最近を振り返ってみると、念願の「ショップ・パンジー」の開店、アメリカの「自立生活支援会議」への参加、ピープル・ファーストのリーダーであるダニエルと彼のアドバイザーであるキャシーを招いての元気が出る講演会、「ハロー！」という元気な挨拶とともに「自立のこと」「くやしかったこと」「やりたいこと」など自分の思いを語り始めたメンバーによる各地での講演会…etc. いろいろなことがメンバーにとって自信の芽につながっていているのを感じます。

さて、今年。着実に心のなかに自信の芽が生まれているメンバーたちとどんどんみなさんのところへ出かけて行きたいと思っています。ときには焼き立てのパンにクッキー、さをりや陶器などの手作り商品を持って。ときにはバザーの物品を取りに伺いに、ときにはイベントのポスターやチラシを持って。そしてときには元気の出る話しをするために……。

パンジーの中だけでなく社会の中で自信を持つこと、社会の中で認められることの大切さを実感し始めた今、春という季節が私たちに「外へ出よう」と言っているようです。
(にっしょん)

パンが販売できる場所をさがしています

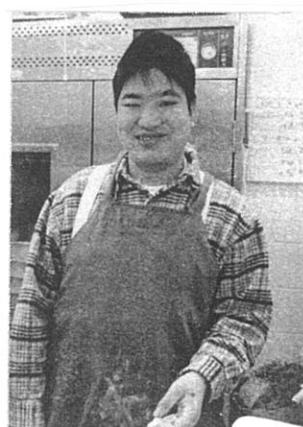
ひじょうに長く寒く感じられた冬も終わり、ようやく春がきたといった感じですが、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

パンジーのパン部門も、春の訪れと同時に気分を一新して、がんばっていきたいと思っています。

去年の暮れからパン部門では、パンの配達のほか、いろいろな場所へパンの販売にでかけていきました。(たとえば、市役所や保育所、学校など) これを読んで「うちに売りにきてもいいよ」という方は、一度パンジーまで連絡してください。

暖かくなり、パンジーのみんなもパンを売りに外へでていくことを楽しみにしています。

(吉竹)



商品を街にだしていこう!



昨年4月より、クリエイティブ部門は、「商品を町にだしていこう!」を目標としてきました。

まず、フリーマーケットや、いろいろなイベントに積極的に参加しました。やはり、参加するとぼちぼちですが売れていっているようす。メンバーが「〇〇売れたで」とか言ってきてくれるのを聞くと、自分の作ったものが売れるのは、仕事に対しての自

信につながっていくことを実感しました。

仕事に自信を持つということは商品に対しても愛着がでてきて、「こんなん、きれいなあ」ということばを聞くと、とてもうれしくなったりします。

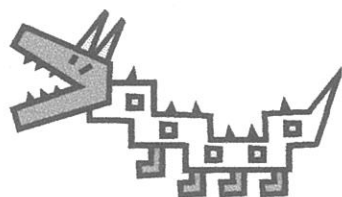
そうこうしていると、「商品を置いてもいい」と言ってくれる店がでてきたりして、少しだけど、目標に近づくことができた1年でした。

クリエイティブ部門の商品が、街のあちこちでみられる日を夢見て……。

(浜田)

いろいろどんどん

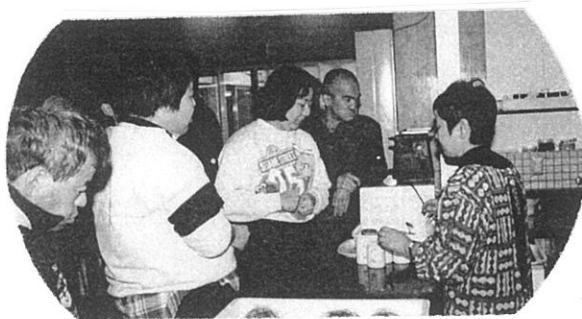
自立生活センター「わくわく」



こんにちわ、「わくわく」です。このところ、いままで行ったことのない、「道明寺」に行ってみたり、「岸和田ファンタジードーム」まで足をのぼしてみたりしています。新しい経験がうれしい人、ちょっと心配そうな人、あまった時間のつぶし方が思いうかばなくて困ってしまう人、“もう、行きたくない”という人……人によっていろいろです。

また、「自由行動」を楽しもうという人たちが増えてきました。行き先を特に決めないで、風景を楽しみながらゆったり歩く…買い物をする…というのがいいようです。中には、これまで誰も思いつかなかった場所や上手な時間の使い方を見つけて来る人もいます。

どこでも、行ってみないとおもしろいか、つまらないかわからないのかもしれませんが。どんどん新しい場所を見つめましょうね。 (ゆきこ)



カウンターから

9時15分、バスが着きました。1番に厨房にやってきて「おはよう、今日はなに」と聞く人や、お茶を飲むついでに「この魚はなんですか。野菜のなまえは」とか、「今日はごはんあるん？」などといいながらのぞいていくひとたち。

時計が11時半をまわる頃には香ばしい匂いに、つついさそわれて、ホールに入れ替わり立ち替わりやってくる人たちなどがたくさんいます。

さあ、11時58分になりました。心の準備はOK。さあ、いらっしやい、残さず食べてね。 (岡本)

グループホーム[あゆむ]でしたいこと

あさくぼみどり

近所の人となかよくしたい。まわりのみんなにめいわくをかけないようにしたい。楽しい「あゆむ」にしたいです。がんばっておたがいに助け合っていきたいと思います。できればあの人はいいい人といわれるようにしてゆきたい。いいせんばいといわれるようにこれからしていきたいと思っています。



ひとりになったとき、お金の管理ができないとこまるときがくるかもしれない。これから自立をする、富田さん、福田さん。もし、なんかこまったことがあれば、わたしとかにそうだんをしてくれたらできるかぎりのことはするつもりです。あゆむをできればスロープをつけたいなと思っています。なんでかとゆうと、陽子さんとかがきたときにあつたらいいと思います。だんさがなくなってくれたほうが、わたしはたすかるけどなあ。

親にいいたいこと

今のうちに親こうこうをしときたいけど、どんなことをしたらいいのかが、よくわからないけど、たぶん、かたたたきとかしたらきつとよろこぶと思います。

親にはいつまでもこどもあつかいはやめてほしいし、できればおとななんだから自分もおとなだと思ってるし、いつまでも親は生きているわけじゃないし、いつかはひとりで生きて生きていかなあかんときが、かならずくると思います。親がしんだら、これから先、ひとりで生きていけないといけなくなるかもしれないとき、こまるのはじぶんじしんだから。

だけど、こまったときとかは、まわりの人に助けてもらったらいいいけど、なんかあったときがこまるかもしれない。そのときはなんとかできればしたいなと思っています。

4月から、女性だけのグループホームができます。名前は「あゆむ」です。
自立ホーム「つばさ」ともども、よろしくおねがいます。

ショップ“パンジー”より



なにもかも新生の春。パンジーの花も満開の中で、ショップ“パンジー”も1歳の春を迎えます。

この1年、いろいろな試みをしながら少しずつ様変わりをして、メンバーみんなのお店として位置づけられてきました。売ることを通して、それぞれの部門の日々の作業が見直されてきました。これからは新しい商品が開発されるでしょうし、相乗効果が期待されます。これこそ、はじめに計画していたことのひとつです。

働く中で自信をつけていけるという、親がずっと見つづけていきたいことが少しずつ形を現してきていると思います。

地域に開かれ、地域に参加していこうとみんなが一つの方向に向かっていく拠点として「ショップ“パンジー”」の存在は大きいことでしょう。1年前は見えなかったことも、今、春の陽光の中で明るく見えてきています。またスタートラインに立って「ショップ“パンジー”」にかかわっていきたいです。(岩田)

新人紹介

パート4

木村 一夫

パンジー・バスの運転手が、辻本さんから木村さんにバトンタッチしました。木村さんは、プロなみの腕前でショップの棚をつけたり、看板を作ってくれたり、活躍してくれています。

新パンジー・バスの運転手、木村さんに大北がインタビューしました。

パンジー・バスの運転手としての感想

今まで知的障害者の人と関わる機会がなかったので、パンジーの人とどう関わっているのかわからなかった。ある程度付き合ってみて少しずつではあるが、メンバー一人一人のことがわかってきた。

趣味：あまり本格的ではないが、乗馬や釣りをやる。



ようこそダニエル！ ダニエル・メドウズの 「自信を持つためのプログラム」

昨年10月、アメリカで開かれた「自立生活支援会議」で、「自信をもつためのプログラム」を講演していた、ダニエル・メドウズさんが日本にやってきました。ダニエルさんは、アメリカの知的障害者の当事者グループ、ピープルファーストのリーダーであり、知的障害を持つ仲間たちの生活を力づけ、より豊かにするための活動をしています。

1月18日、総合福祉センターには約170人がダニーの話を聞こうと集まりました。簡単なあいさつと紹介の後、早速プログラムが始まりました。

「10の鍵」をダニーがひとつずつ言い、会場の皆が声をそろえて後に続き、それについての意見や思いを皆が手をあげて発言するという、ワークショップ形式で進められました。最初は、ダニーの英語（しかもすごい早口！）にあっとうされていた皆でしたが、だんだんと手が上がり、意見を言い始めました。「どんな意見にも拍手を」とダニーは言い、うまく話せない人がいても「手をあげて立ち上がるからこそ、勇気がある」と、拍手を送りました。

みんなの感想

おもしろいよ。

バッチ、ゲー。

気がはれる。

胸がすーっとした。



自信がどんどんわいてくる

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) 私は幸せです。 | I'm happy. |
| (2) 私は他の人を思いやることができます。 | I care about people. |
| (3) 私はやりかけたことを最後までやります。 | I get things done. |
| (4) 私は勇気があります。 | I'm brave. |
| (5) 私は自分で決心したことは守ります。 | I'm determined. |
| (6) 私は自分のことは自分でできます。 | I take care of myself. |
| (7) 私は仕事を一生懸命やります。 | I'm a hard worker. |
| (8) 私は自分の権利のために戦います。 | I stand up for myself. |
| (9) 私は人と上手につきあうことができます。 | I get along with people. |
| (10) 私はおもしろいことを言って人を笑わせます。 | I have a good sense of humor. |
| (11) 私は服装をいつもきちんとしています。 | I look good. |
| (12) 私は落ちついていてがまん強いです。 | I'm calm and patient. |

これから・・・

ダニーの講演会の後、このプログラムの一部をどらえもん会でやってみました。ダニー役をする人は、サングラスをして、ダニーのおいていったコートを着て、「アイムハッピー!」。他のメンバーもそれに続いて「アイムハッピー!」(このことばはみんな気に入ったらしく、盛り上がると必ず誰かが叫びます)

自分の思いを人に伝えるときには、勇気と自信がいる。そして自信をつけるためにはまず、自分を好きになることから始めよう。そんなことをダニーは私たちに教えてくれました。

これから、どらえもん会の新役員さんたちで「パンジーオリジナル 自信をもつためのプログラム」を考えていこうと思っています。

生田さんの京都ご案内

きんかくじにいった かいもの10けん
ぐらいまわって いっぱいになって
かばんかいはった。また みせはいった。
しゃぶしゃぶたべて さわぎました。ダニエルさんと
キャシーさん(アドバイザー)が うたをうたってく
れました。すごいたのしかった。うれしかった。

しあわせやいうことは うれしいなあ。



『わたしのせいじゃない』を読む

(ハンディキャップにいかに対応するかに関する

スウェーデンの教科書にみる事例研究・その2)

二文字理明(にもんじ・まさあき) 大阪教育大学教授

『わたしのせいじゃない』

レイフ・クリフチャンソン著

二文字理明訳

岩崎書店発行 定価880円

学校のやすみじかに
あったことだけ
わたしのせいじゃないわ

はじめたときのことみていないから
どうしてそうなったのか
ぼくは知らない

ほんとうはわたしみたの／だからしているの
でもとにかくわたしの せいじゃないのよ

ぼくはこわかった／なにもできなかった
みているだけだった

おおぜいでやってたのよ
ひとりではとめられなかった
わたしのせいじゃないわ

おおぜいでたたいた／みんなたたいた
ぼくもたたいた でもほんのすこしだけだよ

はじめたのはわたしじゃない／ほかのみんながたたきはじめてたのよ
わたしのせいじゃないわ

自分のせいじゃないか／その子がかわってるんだ
ほかの子はみんなふつうなのに

考えることがちがうんだ／ぜんぜんおもしろくないんだ／自分のせいだよ



その子はひとりぼっちで立っている
おまけに目をとろんとさせて泣いているんだ

泣いている男の子なんて／さいていよ／おもしろくない子なのよ

先生にいつければいいのに／よわむしなのよ／わたしにはかんけないわ

そんなことがなかったら／その子のこと ほとんどわすれていたわ
なにもいわないんだもの

ひとつもしゃべらなかった／ぼくたちをみつめていただけだった
さけばいいのに

たたいてもわたしはへいきだった／みんなたたいたんだもの
わたしのせいじゃないわ

スウェーデンで刊行された原著には、この本はドラマ仕立てで演じてみるように書いてあります。効果音もいろいろ取り入れて工夫してみるようにとも書いてあります。この本の精神で最も大切なものは、「いじめ」を頭で理解するのではなく、むしろ「いじめ、いじめられる過程」を演じながら、心で感じとることを強調していることではないでしょうか。

「オリエンテーリング科」のテーマが「人間」であることは前回記した通りです。1980年版基礎学校用教育課程の「人間」をテーマとした項の初級学年（1-3学年）階段のところには次のような記述があります。

「他者との関係：ひとりきりでいること。集団の中にいること。共に生きること。性的な問題。性別の役割。日常における葛藤場面とその対策。ハンディキャップの概念の理解。」中級学年（4-6学年）のところでは「いじめ対策」も登場します。他者との共存、共生の円滑化の基本は子ども自身の「感覚・感情」にあります。

上に引き合いにだした『わたしのせいじゃない』はこういった考え方に基づく一例です。考えることも大切ですが、その前に、感じることがもっと大切だといっているのです。

パンジーメンバーによる講演依頼、 うけつけます

今、パンジーではメンバーによる講演会を行っています。今までは自立生活をしている人たちを中心に講演をしていましたが、去年の12月には、講演の経験のなかったメンバーがはじめて舞台に立ちました。場所はパンジーの近くの鴻池東小学校。低学年、高学年、それぞれ200人ほどの子どもたちを前に、5人の人たちがパンジーの仕事、自立のこと、自分たちのことを話しました。

その後、小学校の先生の研修会、奈良の保母の研修会（約300人を前に話しました）、上曾爾小学校と講演を重ねました。

対象を設定して話す内容を考え、練習を繰り返しながら、みんなはだんだん話すのがうまくなっていき、自信がついてきました。

上曾爾小学校の生徒たちの感想と講演メンバーの感想を紹介します。

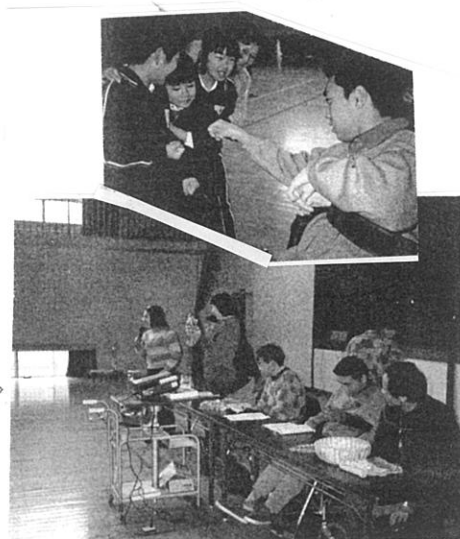
上曾爾小学校の生徒たちより

- 「さいごに、ゲームでジャイケン列車をしました。みんなとしたら、おもしろかったです（1年生）」。
- 「パンジーの人たちがきてくれて、とてもよかったです。障害を持つ人でも、私たちといっしょなんだなと思いました（4年生）」
- 「ぼくははっきりいうとあまり話は聞きたくなかった。でも、熱中して聞いていた（5年生）」

パンジーメンバーの感想

- ☆ 人がいっぱいおるから、はじめはきんちょうしたけど、だんだんうまくなってうれしかった。（岡本 智）
- ☆ 小学生から「計量ってなに？」って質問があった。「パンをつくるときに、いろいろな粉をはかっている」といった。（富田 妙子）

講演の依頼を受け付けています。詳しくは、パンジーまでご連絡ください。



ガイドヘルパー募集中!

みなさん、お元気ですか? パンジーのメンバーは、第1・第3土曜日の外出活動=「わくわく活動」をとっても楽しみにしています。

パンジーでは、外出活動の際メンバーと一緒にでかけてサポートする人
=「ガイドヘルパー」として活動してくれる人を募集中。

いつも「わくわく活動」と、パンジーの行事の時にはたくさんのガイドヘルパーさんが参加してくれます。(ありがとう!)

ヘルパーの仕事は、ベアになったメンバーが外出先の色々なことを楽しめるように考えながら、メンバーが必要としていることを手伝うことです。やり方、内容はメンバーによってさまざまです。

「むずかしそう」と思いますか? 最初は誰でもそうです。わからないことは担当の職員にききながら活動してください。 やってみたい人はぜひご連絡ください。事前に面接し、必要なことをお知らせします。

4月の行事

- (1) 4月 6日(土) ほしだ園地(交野市)・ひらかたパーク
- (2) 4月 27日(土) パンジー祭(パンジーにて)

ガイドヘルパー研修会

- 4月18日(木) 6:30~ 「しごとクラブ」について
—アメリカの援助付き雇用などの見学報告
 - 5月16日(木) 6:30~ 教育について / 生活について
 - 6月20日(木) 6:30~ ロールプレイをとおして
- 場所: 大阪府同和地区総合福祉センター (JR環状線芦原橋駅下車徒歩5分)
主催: ピープルファーストから学ぶ実行委員会

連絡先: 「パンジー」気付「わくわく」 Tel 0729-63-8818・Fax 0729-63-8825

☆面接日の指定できます。ご都合のよい日にどうぞ

書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています! ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます

＜後援費を振り込んでいただいた方＞ (敬称を略させていただきます)

田中 誠 泉原寛康 墳下千里 岩佐フミ子 赤松佳代子 大槻小浪
金属機械ヨコタ工業支部 久保田卓 牧 孝子 吉田和子

＜カンパ・寄付をいただいた方＞

泉原寛康 墳下千里 古賀俊子 松崎いくみ 松野明子 西田美知子
前田公子 明和グラビア労働組合 楠 佐代子 岡本伶子 岸本啓子
榎本阿志夫 中村雅也 滝川信明 安積遊歩 金属機械ヨコタ工業支部
橋本幸子 久保田卓

＜メンバーが外へとびだすためのカンパをいただいた方＞

柳 久子

＜書き損じハガキをお送りいただいた方＞

高野 林はるよ 福谷和子 南元央子 徳田輝美 島 眞之
下川としこ 杉本アキ子 木村多加緒 墳下千里 河村有希子

＜支援金をいただいた方＞

牧 孝子

兵庫県南部地震への支援の為の情報

被災した障害者作業所・事業所などの**再建のために支援金**を集めています。阪神大震災障害者救援本部を通じて、被災地の障害者団体に送ります(振り込み用紙の記入欄に「支援金」とご記入ください)

メンバーが全国へ飛びだすためにカンパをお願いします

全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。その会議では、自分たちのこと、将来のこと、自立についてなどを話し合います。

現在、旅費、宿泊費は**メンバーの個人負担**、少しでもメンバーの負担を軽くするためにぜひ、カンパをお願いします。

パンジーでは後援会員を募集しています。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	

クリエイティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市城東区東中浜2-10-1-3
緑橋グリーンソイツ1F・アト企画気付